



第20号
 令和6年2月1日
 府中市立
 府中第八中学校



〈在籍生徒数〉一学年248名、二学年261名、三学年241名
 全校生徒数750名
 〈学校住所・電話番号〉
 〒182-0035 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二(三六四)一八八一
 ★多くの地域の
 よりの方から学校だ
 さいだいがとうま
 ございます。

『バレンタインデーの苦い苦い思い出』

校長 高汐 康浩



毎年二月になると中学生時代の苦い苦い体験を思い出す。当時、同じクラスにひそかに思い焦がれていた人、Aさんがいた。とても素敵な人だった。誰にでも優しく、笑顔が素敵で、真面目で、勉強が得意で、その人のことを思うと夜も眠れないほどだった。

当時、ときどき男子の間では好きな人のことを話題にしていた。思春期真つただ中の中学生なので自然なことだろう。でも、私の性格のせいか、好きな人のことをオープンに話すことはできなかった。「高汐は好きな人はいるのか？」と友達から聞かれても、「いないよ。」と答えたり、気取って「恋愛には興味はないよ。」などと返したりしていた。でも、オープンに伝える友達をうらやましく思ってもいた。

十二月になると、生徒たちは年賀状を誰に出すのか、という話題で盛り上がった。男子生徒たちは何とかして女子生徒たちから住所を聞き出し、生徒手帳の「住所録」に書いてもらうことに夢中になった。ピンポイントに好きな人のところには誰も行かない。何人かの女子生徒に声を掛け、住所と名前を書いてもらい、その中に意中の人を含めるのだ。私も、好きな人はいないと言いつつも、友達と同じように何人かの女子生徒に住所と名前を書いてもらった。もちろん、なにげなくAさんにも声を掛けて書いてもらった。

とところで、なぜ、Aさんのことをこんなに好きになってしまったのか、という話について話しておきたい。年度初めに、Aさんとは偶然隣の席になった。たまたま、出席番号順が同じだったのだ。初めは何も意識をしていなかった。Aさんは、毎朝、「おはよう」と声を掛けてきた。そして、あいさつを交わした後、前日のテレビ番組の内容やいろいろな話をするうちに、だんだんとAさ

んに對して、それまで経験したことのないような感情を抱くことになったのだ。元旦の日は朝からソワソワしていた。母はいつもの私の違いに気付き、「落ち着かないね、どうしたの？」と聞いてきた。母の鋭い感覚に、さすがだなと思った。八時頃に一台のバイクが家の前に止まった。私はすぐに郵便受けを確認しに行こうとしたが、家に来たのは父の知り合いだった。今度は、自転車も止まった。すぐに、郵便受けに行き年賀状の束を郵便屋さんから直接受け取った。私以外の家族宛の年賀状がたくさん届いていた。家の外で東の中からAさんからの年賀状を見つけ、思わずガッツポーズをした。Aさんからの年賀状をその場で抜いて、居間にいる家族に年賀状の束を渡した。私の行動にたぶん不信感をもっていたに違いないが、何も聞かれずホッとした。Aさんからの年賀状はしばらくポケットにしまい、後でゆっくり見ることにした。「高汐くん、今年もよろしくお願ひします。いつもありがとうございます!」確かに気持ちは寄せてくれていた。単純思考の私は、Aさんは、私にチョコを持ち込めなかった。だから、女子生徒はチョコを見つからないように隠し持つか、一旦帰宅してから好きな人に渡していい。受け渡し場所は暗黙のルールのように、学校の北側の空き地になった。当然Aさんからのチョコを期待しての行動だ。空き地の端にこの放置された土管(※)にBくんと一緒に座っていた。ふと正面を見るとAさんがこちらに向かっている姿が見えた。私は心の中で大きく年賀状のとき以上にガッツポーズをした。私たちの前にたったAさんはリボンのついた小さな箱を差し出したため、私は立ち上がって受け取るうとした。そうしたら、なんとAさんは私の隣に座っているBくんを渡したのだ。その瞬間に見事に私の恋心は崩れ落ちた。なんとか笑顔を作り、Bくん「よか

(裏面に続く)

Topics

活躍する八中生

〔敬称略〕

★バスケットボール部★

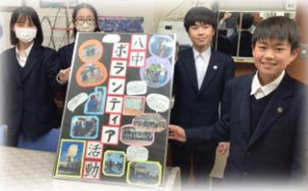
- 男子
- 第二十六回総務カップ 第三位
優秀選手賞 飛鷹 夏空
ベストディフェンス賞 田口 遥人
 - 第二十五回神原杯 第三位
優秀選手賞 春山 璃乃
 - 第二十六回総務カップ 第三位
優秀選手賞 藤田 麻央
ベストディフェンス賞 近藤 彩葉
- 女子
- 第二十六回総務カップ 第三位
優秀選手賞 藤田 麻央
ベストディフェンス賞 近藤 彩葉



生徒会役員の皆さんが

八中生のボランティア活動 紹介パネルを作成！

本年度も生徒たちは、さまざまなボランティア活動に参加してきました。二月二十三日（金）二十四日（土）に、フォーリス一階で八中の紹介パネルが展示されます。ぜひ、ご覧ください！



1月14日の『どんど焼き』では、生徒会役員が点火式を行いました。写真を尾崎PTA会長様から提供いただきました。



「たな！」と声をかけたが心の中は大泣きしたい位の悲しさとか、恥ずかしいとか、初めてもった感情に支配されていた。その後一ヶ月位は落ち込んでいたが、同時に自分のことについて時間をかけて振り返ることができた。この経験を通して気づいたことがあった。それまでは、自分のことでも他人が関わることも目標を達成させるときは、自分が何をすべきか、ということばかりにこだわっていた。他人のことを思いながらも他人を尊重していかなくて行動していたのだ。言い換えれば自分の都合のよいように考えて行動していたのだ。難しいことだが、今でも、この苦い経験を教訓にして何をすることも関係する人それぞれが思いや考えがあることなど、他の人のことを自分以上に尊重して行動したいと思っている。

（この体験は以前生徒の皆さんにお話しした調布北高校へのこだわりに関係しています）

※土管：「どかん」と読む。コンクリートで作った水道用の管、昭和時代には使われなくなった土管が空き地などに放置されて遊んだ。

2月の予定

日	曜	行事等
14	水	
13	火	
12	月	振替休日 私立一般入試
11	日	建国記念の日 私立一般入試
10	土	私立一般入試
9	金	新入生対象説明会
8	木	認知症サポーター講習会（一年）
7	水	避難訓練
6	火	
5	月	生徒会朝礼
4	日	
3	土	連合美術展始
2	金	
1	木	SDGs講演会（車椅子バスケット体験）（一年）
15	木	金融・保険授業（一年）
16	金	専門委員会・中央委員会
17	土	
18	日	
19	月	生徒会朝礼 学年末考査一週間前
20	火	
21	水	都立高一一般入試（学力検査に基づく選抜） 3年特別時程
22	木	
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	学年末考査
27	火	学年末考査
28	水	学年末考査
29	木	SDGs講演会（東京大学）（一年）

□二月の生活目標□
寒さに負けずに
健康で充実した生活を送ろう



「如月（きさらぎ）」「衣更着（きさらぎ）」が転じたといわれています。寒さに耐えるために重ね着をする季節という意味ですね。